

編集後記

今月は「住」に関する特集号なのだが、期せずして食に関する記事も多くなった。住まいとは、寝る場所であるだけでなく、食う場所でもある。

その安全な住まいを求める難民がアフリカや中東からヨーロッパへ大移動している。この夏、フランスとドイツにいたのだが、特にドイツでは「難民申請80万人」といわれており、大都市だけでなく地方都市にまで一時収容所が作られ始めていた。大災害後の避難所のような空間に、アフガニスタン、シリア、イラク、エリトリア、リビアなどさまざまな土地から紛争や圧制を逃れて、命をかけて陸路・海路やってきた人びとが混住している。

滞在した大学町にも収容所ができ、その近くのディスカウント・スーパーでは「イスラエルから輸入されてる野菜は買うべきじゃない」、「でも安いよ」などといったアラビア語の会話が聞こえてくる。レジ横にいかめしい警備員が配置されるようにもなった。しかし、よく見ていると、その警備員も移民の背景をもつ人であり、ドイツ語はおろか、英語も片言しか話さないニューカマー難民とレジ係のあいだで通訳をしてあげている。まさにコンタクト・ゾーンである。

(山中由里子)

次号の予告

特集

ミステリーに挑む

みんぱくをもっと楽しみたい 人のために—会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます(特別展示は観覧料割引)。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいです。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893/平日9:00~17:00)

月刊みんぱく 2015年10月号

第39巻第10号通巻第457号 2015年10月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信

編集委員 山中由里子(編集長) 河合洋尚 菅瀬晶子
丹羽典生 丸川雄三 南真木人 吉岡乾

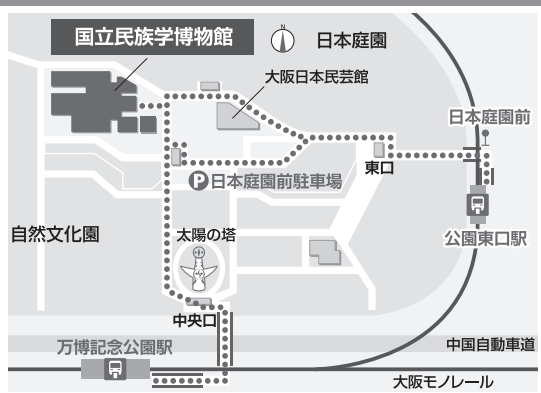
デザイン 宮谷一 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に
お願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>

